オフグリッド集落促進に向けたセミナー　開催案内

◆　開催趣旨

令和 6 年能登半島地震では、停電や断水、通信障害等が広範囲で発生したうえ、一部地域ではそれらが長期化するなど、従来の「線でつながるインフラ」の脆弱性が顕在化しました。一方で、地域コミュニティの力や地域資源を活かしながら生活基盤を維持した事例も見られました。

この経験を踏まえ、石川県では「石川県創造的復興プラン」に基づき、従来のインフラ強靱化に加え、自立・分散型の「点でまかなうインフラ」の導入を推進しています。その具体策の一つが、再生可能エネルギーや蓄電池等を活用し、地域内でエネルギーや水を確保するオフグリッド（※）の取り組みです。こうした取り組みは、災害レジリエンス強化に資するのみではなく、人口減少や老朽化により厳しさを増す水・電気供給網の持続可能性を高める可能性もあります。

本セミナーは、県内での先進事例の紹介を通じて、オフグリッド化による災害に強く持続可能な地域づくりの可能性について理解を深めることを目的として開催します。

※）オフグリッド化：公共の電力網や水道網などのインフラから自立して、電気・水を地産地消すること

◆　開催概要

1. 日時　令和 8 年 12 月 14 日（月）13 時～16 時
2. 場所　セミナー　　珠洲商工会議所第 1 研修室(珠洲市飯田町 1-1-9)＋オンライン
   現地見学会　　金沢大学「未来知 MITSUKE BASE」(珠洲市宝立町鵜島七字 46 番の 1）
3. プログラム（内容は都合により変更となる場合があります。）

	タイトル	内容	講師
13:00~ 13:05	開会		県 CN 推進課
13:05~ 13:35	金大によるオフグリッド拠点の取組	・「未来知 MITSUKE プロジェクト」の狙いと今後の展望について	金沢大学能登里山里海未来創造センター
13:35~ 14:05	水循環システムとベストミックスにむけた取組み	・水循環システム ・珠洲市での実証実験 ・水道のベストミックスにむけた取組み	WOTA(株)パブリックアフェアーズ部 部長　畦地 啓太 氏
14:05~ 14:30	ライフラインとしての通信について	・再エネを活用した災害時の通信確保の重要性と考え方	県地域デジタル推進課
14:30~ 14:35	閉会		県 CN 推進課

各自移動
15:00～16:00　金沢大学「未来知 MITSUKE BASE」において現地説明会
※現地説明会へのオンライン参加はできません

◆ 参加申込方法

参加費無料、事前申込制となっています。参加をご希望される方は、12 月 10 日(木)15 時までに、下記リンク先または QR コードからお申し込みください。

オフグリッド集落促進セミナー　参加申込ページ – フォームに記入する

◆ 問い合わせ先

石川県カーボンニュートラル推進課 地域エネルギー政策グループ　担当　坪川
メールアドレス　cn3@pref.ishikawa.lg.jp　　電話番号　　076-225-1527

